

	視点	4年間の目標 (平成 28 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価(3月24日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	(3月1日実施)	成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	教科指導においては、基礎基本を定着させることはもちろんのこと、「上級学校において役立つ学力」「社会の中で自ら生きていくために必要な学力」「学び直しとしての学力」の定着を図る。 「学びの場」としての定時制高校の意義を再確認させ、生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践する。	単位制システムを活用した多様な生徒のニーズに応える教育課程の確立を目指すとともに、選択科目の精選を図る。 生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する授業づくりを実践し、対話的な深い学びを踏まえ基礎基本の充実を図るとともに学習習慣の確立を目指す。	多様な定時制生徒の状況に応じてきめ細かく指導するための GWPW 等の工夫改善を行うとともに、選択科目の精選を図る。 指導主事を招いた研究授業等を実施し、職員のスキルアップを図る。 関係するグループと連携し、授業規律を徹底させ、よりよい学習環境を継続して整備する。 * : GWPW (Group Work Pair Work)	言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、生徒の言語活動を充実することができたか。 組織的な授業改善の取り組みが深められたか。 生徒自らが受信して考え、発信する場の設定ができたか。	各教科とも授業改善の一環として GWPW 等の工夫改善を行い、生徒の言語活動の充実をはかった。 授業改善に向けた取り組みのテーマを「学びあいを通した「そうか！わかった！」につながる更なる工夫が必要である。 多様な生徒の状況に応じた細かい指導のために、学校全体で授業改善に向けた研修を工夫充実する必要がある。 HR 活動を始めとして、日ごろから生徒の主体性を育む取り組みを通し、生徒自らが受信して考え、発信する場を増やす必要がある。	言語活動の充実について、全職員のスキルアップを図り、「そうか！わかった！」につながる更なる工夫が必要である。 多様な生徒の状況に応じた細かい指導のために、学校全体で授業改善に向けた研修を工夫充実する必要がある。 HR 活動を始めとして、日ごろから生徒の主体性を育む取り組みを通し、生徒自らが受信して考え、発信する場を増やす必要がある。	定時制では多様な生徒を受入れているので、個々の生徒への指導目標を明確にし、画一的な指導ではなく、各生徒にあった項目(学力、社会人力)を大きく伸ばすような指導体制を構築必要があると思う。すでにそのような対応をとっているとしたら、その成果を示してそれを学校全体の特長としてほしい。 様々な事情を抱える生徒達に寄り添いきめ細かな指導がなされていると思う。特に心のケアを重視している点に先生方の深い愛情を感じた。 様々な生徒へのきめ細かいご指導により心より感謝する。引き続き、家族のように寄添った指導をお願いしたい。 校内評価と同様4年間の目標に向けてそれぞれの課題・改善方策をフォローアップしてほしい。 生徒自らが発信できる場を増やしてほしい。 生徒達に対する熱い思いが伝わった。 多様な生徒があり、指導にご苦労されていると思う。研究授業や研修会開催、PDCA サイクルも意識されており、学校全体、教員一丸となって取り組む姿勢はすばらしい。	授業改善に向けた取り組みのテーマを「学びあいを通した「そうか！わかった！」につながる授業」とし、様々な工夫改善を行い、研究授業及び研修会を実施し組織的な授業改善の取り組みが深められた。 GWPW を通して意見発表やプレゼンテーションなどを行った。	言語活動の充実について、全職員のスキルアップを図り、多様な生徒の状況に応じた細かい指導のために、学校全体で授業改善に向けた研修を工夫充実する。 インクルーシブ教育の観点を取り入れた学習指導の充実を図る。
2	生徒指導・ 支援	一人ひとりの生徒理解に基づく生徒指導や教育相談体制を充実させ、希望をもって学べる学校づくりを進める。 すべての教育活動を通して道徳教育を推進し、道徳的心情と道徳的判断力を育む。	落ち着いた学習環境を整えるとともに、充実した明るい学校生活を支援する。 規範意識と社会的言語能力をしっかりと身に付けた自立した社会人を育成する。	関係するグループと連携し、授業規律を徹底させ、よりよい学習環境を継続して整備する。 さまざまな体験活動や交流活動を通して集団や社会の一員として自主的実践的に行動できる態度を育成し、自己を生かす能力を養うことにつながる。	生徒の状況を的確に把握し、支援の必要な生徒に対して組織的な支援ができたか。 生徒が意欲的・主体的に取り組む体験活動や交流活動を充実することができたか。	生徒一人ひとりが主体的能動的に行動することができる生徒会活動の活性化と充実を図る行事を実施した。また、新入生への部活動紹介や在校生への部活動の入り促進、全国大会壮行会など部活動を盛り立てる体制を整えた。	今後もより一層、生徒が主体的に能動的に取り組む生徒会活動や行事を図り、充実した学生生活を送る環境を整えていきたい。 全校集会等で、授業中の携帯電話・スマートホンの取り扱い方の注意喚起を行い、落着いて授業を受けられる環境を整えたい。	生徒指導・支援についても全校の教育課程学習指導と同じ視点で対応していただきたい。 時間的な制約のある中で様々な活動を促進され、特に部活動では全国レベルの大会に出場する生徒もいて感じている。 校内評価と同様4年間の目標に向けてそれぞれの課題・改善方策をフォローアップしていただきたい。 個人差・家庭差を感じたが生徒に学校が安心していられる場であって欲しいと思う。 生徒会活動、様々なイベント実施は、学校への帰属意識や孤立化を防ぎ、ゆくゆくは落着いて勉強できる環境・姿勢「学校に行きたい」「勉強したい」につながってくると思う。引き続き進めていただきたい。	生徒の状況を的確に把握し、支援の必要な生徒に対して組織的な支援ができた。 生徒会活動の活性化と充実を図る行事を実施し、生徒が意欲的・主体的に取り組む体験活動や交流活動を充実することができた。	より一層、生徒が主体的に能動的に取り組む生徒会活動や行事を図り、充実した学生生活を送る環境を整える。 安心安全な学校環境づくりにより一層取り組んでい。
3	進路指導・ 支援	キャリア教育の一環として、道徳教育との関連性をもって、すべての教育活動において、生徒一人ひとりが社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てる。	生徒一人ひとりのキャリアの発達を目指し、それぞれの進路実現を支援する。	多様な定時制生徒の状況に応じた決め細かい指導を実現するために年次団とグループが密接に連携する。 多様な進路選択のために、就職活動サポート、進学支援、シチズンシップ教育、道徳教育の充実を図る。	生徒の職業観の変容状況を把握し、キャリア教育を充実させることによって、希望する進路先への実現ができたか。	始業前や放課後の時間を利用して、就職希望者や進学希望者を対象に、卒業年次団と連携し、生徒一人ひとりの目指す進路実現のため、履歴書やエントリーシート・面接指導を実施した。 上級学校出前授業や1日カレッジ体験を実施し、生徒個々のニーズに応える進路体験を行った。また、ハローワーク等との連携により、「産業社会と人間」や「総合的な学習の時間」において、就労観を養う丁寧な指導ができた。	今後も卒業年次団と連携し、生徒への丁寧な指導を継続していきたい。 上級学校出前授業等を実施し、進路選択が早い時期からできるようになった。今後も個々のニーズに対応した取り組みを継続して実施していきたい。また、就職支援としてハローワークおよび地域の企業と連携を今後も継続して図りたい。	現状の取組みを評価する。 卒業後も続く長い人生を見据えたあたたかい指導・支援がなされていると思う。 すでに取組まれているところではあるが、引き続き地域企業との共同研究や共同開発などの連携を通じて幅広い視野と柔軟性ある人材育成をお願いする。 校内評価と同様4年間の目標に向けてそれぞれの課題・改善方策をフォローアップしていただきたい。 上級学校進学や就職支援も継続して生きていける子に導いて欲しい。 進路についても言葉の問題や経済事情など、ご苦労が多いと思う(最近 本校でもありましたが、国籍により就労が制限されるとか)。報告では 丁寧な対応をされていると思うので引き続き取り組みを進めていただきたい。	就職希望者や進学希望者を対象に卒業年次団と連携し、生徒一人ひとりの目指す進路実現のため、履歴書やエントリーシート・面接指導を実施し生徒の職業観の変容状況を把握し、キャリア教育を充実させた。	就職支援としてハローワークおよび地域の企業と連携を今後も継続して図る。
4	地域等との 協働	家庭や地域の教育力の活用と関連行政機関との連携を一層充実させ、教育力の向上を図る。	地域および学校間の連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。	学校、家庭、地域と連携した教育活動、開かれた学校づくり、学校説明会、ホームページ等を広く活用した学校広報活動の推進を図る。 コミュニティ・スクール指定校として特色ある教育活動を推進する。	地域や外部機関と連携を図り、学校周辺の環境整備事業やその活動状況について徹底できたか。	広報活動では、これまで以上に迅速に情報更新に努めた。説明会では、学校生活や教育活動について、丁寧な説明を心がけた。	引き続き、地域との連携をより深めるために、早めに広報活動を行う。生徒の状況や学校活動について、地域へ正確に発信していく。	評価の観点で記載された内容がどのように達成されたのか不明です。 地域の清掃活動に積極的に参加されるなどすばらしい取組みが進んでいると思う。 特に授業参観は勉強になった。 良い関係が出来ているように思う。 時間の制約のなかで地域との連携実施は難しいと思うが、地域貢献デー参加率が74%は立派である。	学校周辺の環境整備事業を行った。 学校、家庭、地域と連携した教育活動、開かれた学校づくり、学校説明会、ホームページ等を広く活用した学校広報活動の推進を図った。	コミュニティ・スクール指定校として特色ある教育活動を推進する。
5	学校管理 学校運営	学校防災力の向上を図り、自らのいのちを守る防災教育を実践する。 不祥事防止を徹底するとともに、教職員の課題解決能力を一層向上させる。	安全・安心で信頼される学校づくりを推進する。 生徒、保護者と職員の信頼関係のもと、充実した式典等の学校行事に取り組む。	防犯・防災体制の構築、防災教育の徹底により、学校防災力の向上を図る。 関係グループと連携し、ホームページ等で緊急時の情報発信体制の確立を図る。 生徒自らが考え、主体的に学校行事等に取り組む環境づくりに努める。	防災学習会や夜間停電対策の充実、地域と防災対策について連携を強化できたか。 緊急時の対応を整備できたか。 生徒がどれだけ主体的に学校行事等の運営に携わったか。	防災訓練と学習会を通して、生徒の防災意識が高まった。 職員一丸となって緊急時対応に努めた。 日頃からの生徒との信頼関係構築により、生徒が主となって学校行事等の計画に参画した。	有事の際の生徒の動きを見直す。また、地域や保護者の積極的な参加を促していく。 引き続き、職員一丸となって緊急時対応に心がける。 今後も生徒との信頼関係を保ちながら、充実した学校行事となるように生徒への働きかけを行う。	現状の取組みを評価する。 生徒の安全・安心を高める取組みが順調に行われていると思う。 全日制と同様有事の際の地域・他学校への連携をどのように考えるかを協議してほしい。 先生方が非常に良く考えてくれているのがわかる。 保護者にも生徒達に関心をもってもらうようにするとよいと思う。 生徒が主体となり行事を実施したという報告、また表彰、受賞、特に学業や部活以外で評価されることはすばらしいと思う。	防災訓練と学習会を通して、生徒の防災意識が高まった。また、職員一丸となって緊急時対応に努めた。 日頃からの生徒との信頼関係構築により、生徒が主となって学校行事等の計画に参画した。	コミュニティスクールの取組みとして地域近隣の自治会、学校等との連携を模索する。